国際ロータリー第2500地区第3分区



Asahikawa Morning

Rotary Club



ホーム ページ

http://www.asahikawamrc.com/

10月の月間 テーマ 経済と地域社会の発展月間・米山月間

本日の例会プログラム3クラブ合同例会(東北RC)

第1101 回 例会 № 15

平成28年10月27日(木) AM18:00~20:30

場所 アートホテルズ 2F ローアン





旭川東北RC 岩田谷隆 会長挨拶

皆さんこんばんわ。本日は今年度2回目の親子・兄弟3クラブ合同例会です。常日頃私どもの会員が皆様片に大変お世話になってお ります。特に先週の北見市でのクラブの会員皆様片にお世話に成りました事、この場で心より感謝申し上げます。

さて本日の例会ではゲストとしてタイ国3330地区VTTチームリーダーユッタキート・マナジート様はじめ4名のチームメンバーを迎 えての例会となりました。先程お話ししました通りこの後の懇親会で久木VTT地区委員長よりお話をいただき 又 メンバーより 自己紹介をいただく事になっておりますが、2500地区でのVTTは皆さんご存知の通り今回で2回目となります。

前回は2013-14年度葭本正美ガバナーの時に同じく3330地区プーケットとの6つの重点分野の中の「疫病予防と治療」に関する歯科 医療チームの交換でありました。

北R.C森山先生をリーダーとして世界で最初のグローバル補助金でのVTTでした。6万ドルで歯科ユニット設置と子供達へのむし歯 予防指導を行ってまいりました。

今夜の合同例会はタイ国との交流をふまえ、大変意義深い例会となります様お願い申し上げ挨拶といたします。

旭川東RC 前田 高志 会長挨拶

3クラブ会員の皆さんこんばんは。VTTチームの皆さんようこそ旭川にお越し頂きました。本日の3クラブ合同夜間例会を開催す るに当たり、旭川東北RCの皆様のホストでお願いしておりますので楽しい時間を過ごせるよう宜しくお願いします。先週は地区大 会が北見市で開催されご出席されました皆さん大変お疲れ様でした。約1,200名登録があり有意義な大会であったと思います。本日 ご出席のRI第3330地区タイ国プーケットより来日されていますVTTチームの方々のご紹介があり、「環境問題」をテーマに職業研 修されているとのことです。地区ロータリー財団「未来の夢計画」での活動プログラムですが、担当されている久木委員長、竹内 委員には大変なご苦労に対しまして敬意と感謝を申し上げます。私も2009年〜10年の山本ガバナー年度にGSE委員会を担当した経 験があります。モーニングクラブ竹村さんもチームリーダーとして派遣の経験を持っておられ、過去には第3分区内でも色々クラ ブでお世話になった実績があります。この度のVTT委員会のプログラムが有意義かつ成功裏に終えられることを祈念申し上げま す。また今週土曜日のフェアウェルパーティーにも当クラブから出席させて頂きますが、実りある報告をして頂けることを期待申 し上げ挨拶とさせて頂きます。





皆さん今晩は、旭川東北RCの皆さんホスト有難うございます。

先週の北見での地区大会過密なスケジュール大変ご苦労様でした。また、3330地区からのVTTメンバーも出席して頂いて居りますが VTTメンバー サバイディールークラップ (元気ですか) コップクン クラップ (有難うございます) 先日の北見の地区大会でD3330のVTTメンバーの中に一昨年度(2014~15)にカンチャナブリRCとのGGPで小学校13校に水の浄化装置を設置現地訪問時に通訳として協力して頂いたツイさんに会え懐かしく感動しメンバーとも親睦が密に出来ました。

今年度、私は会長挨拶を会長の時間として ロータリーの原点は何か。ロータリーの定義、例会の意義と出席の重要性などについてシリーズとして紹介させて頂いて居ります。

原始ロータリーにおける例会出席は、友情の証でもありました。四回も続けて休むような人から友情を期待することはできないという理由から、連続休会、即、退会という結論がでたのに違いありません。現在のロータリーでも、例会出席が友情の証であることには変りはありませんが、その理由だけで、例会出席の意義を説明するには些か無理が有る様であります。

先ず、もしも、例会を休んだとしたら、どのような弊害が生じるかを考えてみたいと思います。

例会にはその地域のあらゆる職業の横断面を代表する会員が出席していますから、あなたが休むことによって、他の会員は、あなたの職業に関する情報が得られなくなると同時に、あなたもあなた以外のあらゆる業種の情報が得られなくなることになります。

その意味では、例会出席は特権であると同時に、極めて重要な義務でもあり、仕事に支障をきたさない範囲で出席するという理屈は通りません。むしろ安心して例会に出席できるように環境を整備すべきであり、ロータリアンにはそのように配慮できる裁量権があるはずです。義務として例会に出席して、そこで生じた仕事のタイムロスを憂うのではなく、特権として出席した例会で得られるものの方が、あなたやあなたの会社やあなたの業界にとって遥かに大きいということを自覚しなければなりません。 万一、真面目に事業を営み、ロータリー運動を推進しているロータリアンが、事業の不振のために破産するような事態があるとすれば、それはロータリー運動そのものが否定されることを意味します。

ロータリアンの事業の安定化を図る方策は、物質的互恵から精神的互恵を経て、職業奉仕の実践に移行し現在に至っている訳ですから奉仕哲学を探究しつつ、永年のロータリー活動を通じて蓄積された膨大な情報こそ、ロータリアンの事業を発展させ、企業経営を健全化に導く貴重な情報とも言えるのではないでしょうか。

旭川モーニングRC 出席報告

*本日の出席	第1101回例会	総員	2 7名
	10月 27 日	出席	15名
		出席率	55.56%
*修正出席	第1099回例会	総員	2 7名
	10月 13 日	出席	2 1名
		出席率	77.78%
* ビジター	旭川 RC 1名		
	旭川西RC 3名		
*メークアップ	10月27日 小林睦明(旭川東RC)		

結びの言葉 旭川モーニングロータリークラブ会長 河崎 高麗男

結びの挨拶と言う事でのご使命を頂きました。次回ホスト役が担当ということで、締めのご挨拶をさせて頂きます。今夜は東北RCの皆様に大変お世話を頂き、楽しい一時を過ごさせて頂き、心から感謝の御礼を申し上げます。今年度内3RC合同例会は次回が最後となりますが、旭川モーニングRCがホスト役として年明け2月16日(木)を予定しておりますので、多くのご出席を宜しくお願い申し上げます。挨拶だけでは締まらないと思いますので、最後に一本締めでこの会を締めさせて頂こうと思ったのですが、一本締めの 「シャシャシャン、シャシャシャン、シャシャシャン」という、三拍を三回重ね、それにもう一拍つける手拍子には、悪いことを遠ざけ、めでたいことを願うという意味があるのだそうです。三を三つ重ねると「九」になる。「九」は苦しみの「苦」にもつながるが、「九」という文字にもう一つ点を加えると「丸」になって、全てが丸くおさまるということにつながるのだそうです。そういう深い意味があるのだとすれば、願いをこめて三つ重ねる三本締めは、いっそうありがたみが増すそうですので、3本締めで行きたいと思いますよろしいでしょうか。それでは3RCの益々のご発展と本日ご参会皆様方のご多幸とご健勝を祈念し、三本締めを行います。

イオー・・・・・・・・・・。























